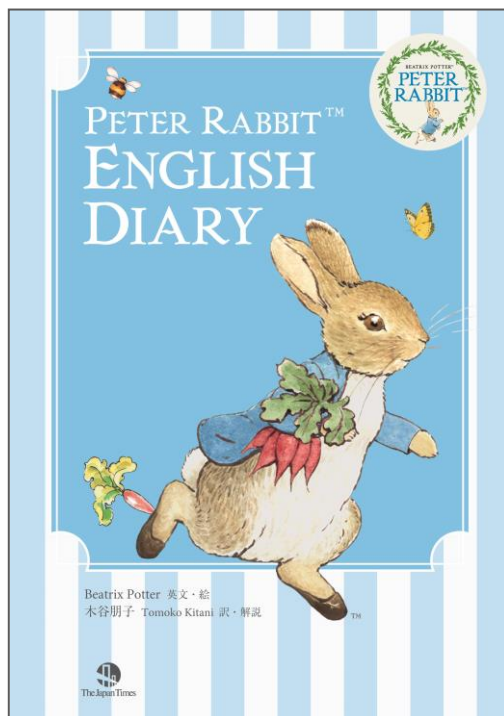


オリジナル英文を楽しみながら可愛くスケジュール管理☆ 2015年度版『PETER RABBIT™ ENGLISH DIARY』発売！

株式会社ジャパントイムズ（本社：東京都港区、代表取締役：堤丈晴）は、世界でもっとも有名なうさぎの絵本キャラクターである、ピーターラビットの物語の一節を英語で収めた2015年版のダイアリーを発売しました。

本商品は、100年以上にわたり全世界で愛されつづけている、ピーターラビットをはじめ、いとこのベンジャミン・バニー、こねこのトム、そしてあひるのジマイマといった、ピーターと仲間たちのバラエティに富んだ物語を月ごとに収録。週間ダイアリーでは、人気キャラクターのかわいい挿絵とともに、物語のオリジナル英文の一節を和訳付きで紹介しており、原作を英語で味わいながら、日々の出来事を楽しく記録できます。

また、絵本の舞台となったイギリス・湖水地方の写真などが豊富に掲載されているだけでなく、物語のあらすじなどに関する読み物も充実しています。ピーターラビットの世界を思う存分堪能できるダイアリーとなっております、プレゼントにも最適です。



© FW & Co., 2014

ピーターラビット™日本公式サイト
<http://www.peterrabbit-japan.com>

王侯貴族たちが集まる高級保養地へ
昔は山と湖しかなかった湖水地方ですが、18～19世紀、その美しい自然が一面脚光を浴びます。きつねは、サー・ウィリアム・ステューアートといった豊かな文字遣の紳士たちが、こぞって湖水地方の美しい自然を題材にした詩集や旅行記、風景画を発表したためです。さらに1875年、ロンドン・ウイグミア間の列車が通過したことで、多くの観光客が訪れるようになると、状況は一変します。風景画や詩に登場した湖水地方に憧れ、王侯貴族や中流階級の富裕層の人々が、次々とロンドンから避暑地やつてくるようになったのです。湖水地方は、イギリスが黄金期を迎えたヴィクトリア時代、高級保養地として知られるようになっていきました。
『ピーターラビットのおはなし』の作者ビアトリクス・ポターも、湖水地方に避暑に訪れていた中流階級の富裕層の子供の一人です。

ピーターラビットの故郷、湖水地方ってどんなところ？
ウィグミア湖、湖水地方最大の湖として知られる。長さ17kmのメートルという米測法にできた独特の長い形。

イギリス随一の景勝地
イングランド北西部カンブリア地方に位置する湖水地方は、ロンドンから列車で3時間半の距離にあります。平穏な牧草地が多いイングランドでは稀有ともいえる、美しい山々と渓谷に囲まれた数少ない景勝地。大小500の湖沼が存在する「イギリスで最も美しい景勝地」として有名です。
湖水地方最大の湖、ウイグミア湖周囲や、ピーターラビットの聖地であるニア・ソーリー村など、観光地は賑やかですが、その多くはとも静か、隠れ家のような村々が点在し、森には多くの野生動物が住み、深淵とした空気が広がります。

レイ・カースル、ポター一家が初めて湖水地方を訪れたときに撮じた邸宅。 ©Historic Kites

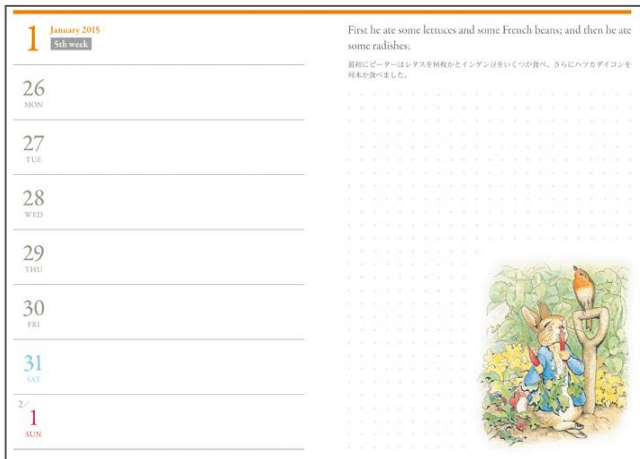
ビアトリクス・ポター・キウリム、ネークスヘッドにあるビアトリクス・ポター・センターの建築主兼執務所だった建物。 ©Historic Kites

【PICK UP CONTENTS】

- ◆ピーターラビットってどんなおはなし？
- ◆ピーターもトムも！ キャラクター紹介
- ◆作者ビアトリクス・ポターの生涯
- ◆湖水地方、ニア・ソーリー村の紹介
- ◆物語の舞台となった場所に関するコラム
—挿絵と現在の写真を比較してみましよう

The Japan Times

4-5-4 Shibaura, Minato-ku, Tokyo 108-8071, Japan
www.japantimes.co.jp



© FW & Co., 2014



© FW & Co., 2014

毎日たっぷり書き込める「月間+1週間」（2014年12月～2015年12月）タイプのフォーマットで実用的！
付属の人気キャラクターシールを使って、自分だけのオリジナルダイアリーも作れます♪

■商品概要■

商品名：『PETER RABBIT™ ENGLISH DIARY』

発売日：2014年10月上旬より全国の書店にて順次発売

定価：1512円（税込）

体裁：B6・並製・192ページ・本文カラー／ビニールカバー・シールつき

ISBN: 978-4-7890-1581-3

◆木谷朋子 [きたに・ともこ] プロフィール (訳・解説) ◆

東京都出身の旅行作家&編集者。明治大学経営学部卒業。『留学ジャーナル』の編集者を経て、1989年より2年間英国へ留学。シェフィールド大学とシティ・オブ・ロンドン・ポリテクニク（現ロンドン・ギルドホール大学）で学び、ビジネスのディプロマを取得。帰国後は、ヨーロッパやアジア、オーストラリアなど、世界各地を取材しながら、海外の旅文化、留学、語学をテーマに、幅広い分野で執筆活動が続ける。主な著書に『英語で楽しむピーターラビット™の世界』、『LIVE from オーストラリア』（以上、ジャパントイムズ）、『英国で一番美しい風景 湖水地方』（小学館）、『イギリス留学』（共著・三修社）、『ロンドンと田舎町を訪ねるイギリス』（共著・トラベル・ジャーナル）などがある。「英国ビートルクス・ポター協会」会員。

【「The Japan Times」について】 www.japantimes.co.jp

「The Japan Times」は国内で最大の販売部数を誇る英字新聞であり、多様で独自性のある日本関連の英文ニュースを提供しています。1897年の創刊以来、政治、経済、文化、社会およびスポーツ報道を通じ、日本を世界に発信する役割を果たしてきました。2013年10月からは「The Japan Times / International New York Times」の名称で、世界のクオリティーペーパーとして名高いニューヨーク・タイムズ紙国際版とセットで発行しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

<商品に関する問い合わせ>

株式会社ジャパントイムズ 出版営業部（大野）

03-3453-2013 hiroyuki.ohno@japantimes.co.jp

<プレス関係の問い合わせ>

コーポレート・コミュニケーション部（福西）

03-3453-5312 pr@japantimes.co.jp